

# Open Campus

2009 5/16<sup>±</sup> 10:00~12:30

6/13<sup>±</sup> 13:30~16:00

7/18<sup>±</sup> 10:00~12:30

事前申し込み 8/4<sup>火</sup> 10:30~14:30 ランチ体験

事前申し込み 8/22<sup>±</sup> 10:30~14:30 ランチ体験

9/12<sup>±</sup> 10:00~12:30

10/24<sup>±</sup> 10:00~13:00

10/25<sup>日</sup> 10:00~13:00

2010 1/9<sup>±</sup> 10:00~12:00

3/24<sup>水</sup> 10:00~12:30

学園祭  
同時開催

スクールバス発車時間

当日は、係の者がプラカードを持って、  
淵野辺駅・相模大野駅改札口より  
スクールバスのりば  
までご案内します。



詳細はホームページを  
ご覧ください。

和泉短期大学

## 退任教職員挨拶 (2008年度)

賛美の祈りと御言葉によって 准教授 藤川 いづみ



1990年4月に神様のお導きによって和泉短大で働かせていただくことを許されてから19年が過ぎようとしています。小さな私をこの学園の尊い使命を担う一人に加えてくださいましたことを心より感謝申し上げます。  
この度、愛する和泉を去ることになりましたが、これも神様が備えて下さった道であると信じ、新しい働き場においても讚美と祈りと御言葉によって歩んで参りたいと思います。ありがとうございます。

ご挨拶 和泉福祉専門学校 専任教員 出村 由利子



和泉での4年間、たくさんの気づき、学び、そして恵みをいただきました。  
忙しい時期があっても体調不良で休むことなく健康で過ごせたのは奇跡であると思います。  
多くの方の支えがあったからだと思えます。心から感謝申し上げます。  
北の大地から皆様のご多幸をお祈りいたします。

和泉での5年間に感謝を込めて 専任講師 伊藤 美佳



和泉の求人に応募し、神様に導かれるように、この学校で5年間働かせていただき感謝しています。  
4月からは、他大学で保育者になる方たちと共に過ごす日々が始まります。和泉で皆様と過ごしてきた幸せな日々を胸に、これからも微力ながら、未来の保育者になっていく人たちのお手伝いができればと思っています。

退職を迎えて 経理・施設ユニットサブリーダー 加藤 正春



1977年9月より新たな職場として、和泉にお世話になり早いもので30年がすぎ、2008年5月に永年勤続表彰を頂き、本年3月をもって長年お世話になった和泉を定年退職することになりました。  
思い返せば、学生送迎バス運転手として8年程行った時等は、学生数が最も多い時期で大変な思いをした事、又、楽しかった事も思い出として心に残ります。その後は、管財課(現経理・施設ユニット)に配置転換させて頂き、20数年間、学園の施設拡充の仕事に携わらせて頂き無事に和泉での仕事が出来ました。学園の益々の発展と教職員の方々に恵まれた事に感謝致します。

## 訃報

### 讃岐和家・第6代学長逝去

本学第6代学長の讃岐和家氏(82歳)が2008年12月29日(月)に逝去されました。葬儀は2009年1月3日(土)に日本基督教団久我山教会にて執り行われました。讃岐元学長の在任中に取り組みされた功績は数多くありますが主なものを紹介いたします。

1. 教育方針の明確化「愛と奉仕の精神・確かな知識と技能」
2. 新規に導入された制度
  - ・自己点検・評価報告書作成・投書箱の設置・成績表示にSA制度
  - ・GPA(成績係数制度)・授業の週5日制・学科名変更・男子受け入れ
  - ・社会人入学制度・父母会による奨学金制度・学生相談室開設、カウンセラー勤務・全教員による授業内容調整会・実習ボランティアセンター開設等
3. 教育と研究のための施設・設備の充実
  - ・全学コンピュータ化(ホームページ、学内LANの敷設、パソコンによる成績導入等)
  - ・全教室の冷房化・校舎内のバリアフリー・テニスコート用地取得等
4. 社会に開かれた短大づくり
  - ・首都圏西部大学単位協定に参加・弥栄東、弥栄西高校と教育交流協定の締結・麻溝台高校と教育交流協定の締結等
5. 学則その他の諸規程・規則の見直しと整備
6. 讃岐和家記念賞創設



### 略歴

・東京大学文学部哲学科卒業・東京大学大学院倫理学専攻修士・ハーバード大学大学院留学・国際基督教大学教授(教養学部教育科学科長、学生部長、大学院教育学研究科長を歴任)  
・国際基督教大学名誉教授・金城学院大学学長・和泉短期大学学長(1996年4月から2002年3月まで)・2002年勲三等旭日中章

元職員：神保栄子氏(83歳)が2009年2月7日(土)に逝去されました。神保氏は職員として、12年3ヶ月にわたりお勤めいただきました。

学園関係者一同、ご家族の上に慰めと平安がありますようお祈りし、衷心より深く感謝申し上げます。



2009年度第45回入学式



## 特集

理事長就任のご挨拶 学校法人 クラーク学園 理事長 深町 正信

## izumi TOPIC 子育て支援プログラム「はっぴい」

- 新農園「にこにこベジタブルランド」オープン
- 読売巨人軍篠塚コーチら野球教室開催
- 眞鍋記念奨学金の顕彰式
- 第25回ハンドベル・クワイア定期演奏会
- 地域の子どもたちに創作劇を披露
- 古川吉重氏の作品が寄贈されました
- 河井希充元理事からの特別奨学金寄付
- オープンキャンパス開催日程

izumiニュース創刊号  
和泉短期大学 広報渉外・庶務ユニット  
発行責任者 理事長 深町正信  
〒229-8522 神奈川県相模原市青葉2-2-1  
TEL.042-754-1133(代表)  
URL.http://www.izumi-c.ac.jp

建学の精神の具体化と今後の経営方針  
理事長就任のご挨拶



理事長 深町 正信(青山学院名誉院長)

Profile

**【学歴等】**  
神学修士(東京神学大学1961年3月)  
1994年1月  
米国アメリカン大学より名誉人文学博士号を授与される  
2000年4月  
大韓民国啓明大学より名誉教育学博士号を授与される  
2000年9月  
英国オックスフォード大学より  
International Associateの称号を授与される  
2008年5月  
米国カウチャー大学より名誉法学博士号を授与される

**【主な経歴】**  
1976年3月  
学校法人クラーク学園評議員(1977年3月迄)  
1977年3月  
学校法人クラーク学園監事(1983年3月迄)  
1983年9月  
学校法人クラーク学園理事(1997年3月迄)  
1984年1月  
青山学院大学大学宗教主任就任(2008年迄)  
1984年4月  
青山学院大学国際政治経済学部大学宗教主任、  
国際政治経済学部教授就任(2008年6月迄)  
1990年8月  
青山学院第12代院長就任(2008年6月迄)  
2008年10月  
クラーク学園理事長に就任 現在に至る

**【学外の主な役職等】**  
1966年~1983年  
日本キリスト教団銀座教会副牧師  
同経堂緑岡教会牧師、同鳥居坂教会牧師  
1989年8月  
社会福祉法人基督教児童福祉会理事長就任  
1999年5月  
財団法人キリスト教学校教育同盟理事長就任  
(2003年6月迄)  
2003年2月  
文部科学省独立行政法人評価委員会学校教育分科会日本  
私立学校振興・共済事業団団長に就任(2007年迄)  
2004年5月  
日本キリスト教文化協会理事長に就任、現在に至る  
2005年3月  
特定非営利法人(NPO) Child Fund Japan 理事長に就任  
2008年6月 青山学院名誉院長称号授与

1 平 良前理事長への感謝

去る2008年10月1日に、私は学校法人クラーク学園の理事長に選任されました。皆様方のご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。前理事長の平 良先生は昨年、急なご健康の都合にて、理事長を辞任されました。クラーク学園は永年にわたる平理事長のよきご指導のもとに、和泉福祉専門学校と和泉短期大学とを併設し、質の高い教育にあたり、全国の福祉施設に多くの良き若者を送り出してきました。その間に、クラーク学園は施設面でも長年の課題であった総合グラウンドを校舎の近くに取得し(2002年)、また、体育館を建設することも出来ました(2004年)。ここに改めて、長年にわたりクラーク学園の評議員、理事、また、理事長として働かれ、ご奉仕下さった平 良先生に、学園を代表して心からの感謝を申し上げますと存じます。

2 歴史を顧みて

現在、日本の教育の危機が叫ばれています。私たちが直面している教育の課

題は家庭において、学校において、それを取り巻く社会においても、いかにして人間と人間との、愛と信頼の関係を回復するかということでもあります。この大きな問題に際して、その決定的な回答をもち、根本的解決の道を提供しなければならないのは、私たちキリスト教学校・大学であり、ここで行われるキリスト教教育にあると思います。

明治以来、全国各地に建てられたキリスト教教育機関の中心には、初めから今日まで、また将来も、信仰に基づく人格形成の教育、豊かな人間性の確立、すなわち、まことの愛と信頼に基づく人間の育成という使命を持っているからであります。

クラーク学園創立の歴史を少し顧みますと、第二次世界対戦の後、米国財団クリスチャン・チルドレン・ファンド(CCF)の支援のもとに、様々な児童救済活動を行い、それらの施設に働く保母、職員の訓練、研修を図るために、「バット博士記念センター」を開設しました。1960年には東京の世田谷の地に「玉川保母専門学院」を開学し、そして1965年に改組して、「和泉短期大学」となりました。

1984年には相模原の現在地に「和泉短期大学」の校地を移転し、さらに、時代の要請に応じてケアワーカーの養成機関として「和泉老人福祉専門学校(現・和泉福祉専門学校)」を設立しました。2001年から、和泉短期大学は共学制となりました。

なお、「社会福祉法人基督教児童福祉会バット博士記念ホーム」と「特殊法人チャイルド・ファンド・ジャパン(精神里親運動)」は同じ「CCF」との関わりから生まれた組織と活動でありますので、今後ともこの三者の間の連帯と協力を大切にしていけることが望ましいと考えて居ります。

3 和泉短期大学の将来展望

教育経済学者のミュンター・ボーレンは大学の危機、淘汰の時代を迎えて、次の課題を指摘しました。現在の日本における和泉短期大学の現状と将来を検討する上でも、非常に参考になるかと思えます。

- 1: 大学に学生を引付ける魅力度
- 2: 大学の教育使命、建学の精神や教育方針に影響を及ぼす社会状況の変化に対応する適応力
- 3: 教職員の優れた資質と忠誠度
- 4: カリキュラムの質的卓越性
- 5: 理事会及び管理にあたる執行部の質と献身度
- 6: 世間の評判
- 7: 資金を集めることの出来る実力
- 8: 物的施設設備の状況
- 9: 緊急事態に立ち上がる校友、支援者たちの情熱的意志等をあげています。

現実にはこれら条件をすべて満たしている大学が多くあるとは思いませんが、これからの少子化、高齢化、また、国際化、格差社会の時代にあって、私たちは絶えず、これらの指標も参考に和泉短期大学の現状を考察し、さらなる大学の教育、研究の充実・発展のための努力目標を挙げて堅実に歩んでゆかねばならないと考えます。

現在、学内には「将来計画構想委員会」がありまして、そこで短期と中期の課題を検討しています。今年度は「21世紀のクラーク学園」-新たな出発-と定め、建学の精神、教育の理念、校訓「愛と奉仕」に基づいて、将来計画を策定しました。最優先の課題としては、

- 1: 和泉福祉専門学校を和泉短期大学専攻科に改組転換(2010年4月)
- 2: 奨学金制度の充実
- 3: 危機管理体制の充実と学生、教職員の安全確保
- 4: 学生の学力と教育力向上
- 5: 生涯学習の拠点に
- 6: 父母会、後援会、同窓会との連携

7: 学内ニュースの発信の検討、充実等であります。

- 主要な具体的計画としては
- 1: キャンパスの短期大学への集中化
  - 2: 研究室、特別教室の準備
  - 3: 質の高い保育士、介護福祉士の養成
  - 4: 専門学校建物の活用準備
  - 5: 文部科学省GPへの応募
  - 6: 関係組織施設(バット博士記念ホーム、チャイルド・ファンド・ジャパン、キリスト教保育連盟)との連携
  - 7: 将来の大学像と資料収集、調査等であります。

なお、理事会は時々々々、大学内外に起こってくる問題については出来るだけ速やかに対応してゆきたいと考えています。そのためには、常に教育の現場の意見をよく聞きつつ、クラーク学園の建学の精神の具体化に努めてゆきたいと願っています。今日の危機は、むしろ変革の好機と捉えて取り組んでゆくことが肝心であります。

神学者のライン・ホルド・ニーバーは、米国の大統領の他、多くの人から絶対的信頼を得ていました。彼の有名な祈りがあります。「主よ、変えることの出来るものについては、変える勇気を与えて下さい。変えることの出来ないものについては、それを受け入れる冷静さを与えて下さい。そして、変えることの出来るものと、変えることの出来ないものとを識別することの出来る真の知恵を与えて下さい。アーメン」。私もこの祈りを大事にしており、クラーク学園の関係者の皆様とともに祈りつつ歩んでゆきたいと願うものであります。



4 社会の変化とクラーク学園

私立学校振興・共済事業団の平成20年度版の報告書によれば、短期大学は依然として減少を続けており、4年度比で495校から380校となり115校23.2%も減少しています。帰属収支差額比率は28.4%の大学が、19年度には-2.4%とはじめてマイナスに転じており、短期大学部門の収支の悪化が顕著となってきたということです。このまま推移すれば、財政的に大学の運営が難しくなるばかりでなく、



学校法人としても将来の蓄えている資金の流失が懸念されています。そして、帰属収支差額比率がマイナスの短期大学が急増し、20%以下の短期大学は4年度の18校から19年度には103校に増えたと報告されています。

日本では短期大学に見切りを付けて4年制大学へと改組転換したり、又、大学の組織の中の短期大学部となったところもあります。その結果、大学数は対4年度比で378校から572校となり194校、51.3%も増加しました。しかし、少子化により受験生の確保においても、帰属収支差額比率が下降を続けているのが現状です。

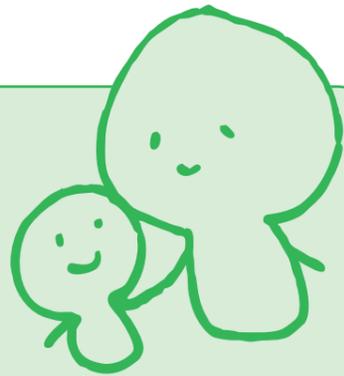
地球の歴史が教えているように、氷河期に生き残ったのは恐竜のような大きな生き物でなく、むしろ小さな動物や微生物でありました。教育機関も似たようなことが言えることもあり、巨大な教育機関は時代の変化や社会の激変に対応が難しいこともあると考えられます。しかし、小さな教育機関であれば、色々の選択対応を考えることが出来るのであります。

今後の和泉短期大学としては、益々高度の教育、研究の充実を図り、又、特色ある研究や特化した教育、技術の高度化等で、さらに魅力あるキャンパスを創ることが大事であると思えます。私たちの自助努力こそが、新しい魅力ある和泉短期大学を形成してゆくものと確信しています。又、大学の経営の面について言えば、帰属収支差額が10%になるように努め、少しでも将来に備えて原資を蓄えることが大事であります。そして、1号基金(固定資産、教育の目的に使用する土地、建物、備品、図書)や3号基金(奨学金の基金、研究所、国際交流基金、遺贈寄付金)を充実させることを大事にしたいと思えます。また、資産運用についてはあくまでも健全と安全に心がけ、出来るだけ、事業収入としての寄付金、資産運用、補助金等を確保することを願っています。

いずれにしても現在の経済不況、金融危機の中で、各界が必死で経営の努力をし、工夫と創出に努めています。それは教育機関とても同様でありますから、クラーク学園を愛してくださる皆様方のご理解とご支援とを心からお願ひ申し上げます。

子育て支援プログラム

「はっぴい」



2006年度開設の子育てサロン「はっぴい」は、体育館を利用して、月1回のペースで開催されています。毎回20家族50名以上の親子が参加し、学生ボランティアと共に広い空間を利用した自由遊び、在学生・卒業生によるイベントを楽しんでいます。いずみ祭、クリスマス、節分などの行事の時には、100名近い参加者となり、体育館は子ども達の笑顔と元気でいっぱいになります。

学生ボランティアを中心に、毎回趣向を凝らしたプログラムを提供している「はっぴい」は、地域の子育て家族にとっては小さい子ども達を安心して遊ばせることのできるリフレッシュの場、在学生にとっては実習・就職を前に実践的な体験学習の場となっています。2月には、遅刻してやってきた「赤鬼」と正義の味方「うさるさん」が登場し、赤鬼に大泣きした子ども達もうさるさんの活躍でホッと一安心、うさるさんと一緒に写真を撮ったり、握手をしたりと楽しいひとときをもちました。

2009年度も7・8月を除く毎月1回(第二土曜日10時～13時、1月のみ第三土曜日)計10回の開催を予定しています。どうぞお気軽にご参加下さい。



2009年度開催予定

4月11日(土)	11月14日(土)
5月9日(土)	12月12日(土)
6月13日(土)	1月16日(土)
9月12日(土)	2月13日(土)
10月10日(土)	3月13日(土)

新農園「にこここベジタブルランド」オープン!



以前から使用していた「子どもと環境」授業用の農園を発展的に移転し、新たに265坪の本格的な農園が大学のそばにオープンしました。本校舎から歩いて3分の至近距離にあり、水道施設や倉庫等完備した本格的な農園です。

1年中、さまざまな野菜と色鮮やかな花を楽しめる楽園になり、心地よい癒しの場として散策も楽しめます。

1月14日(水)に奉献式が行われ、公募したネーミングから選ばれた「にこここベジタブルランド」という新農園の名前が発表されました。

この度、新しくできる農園の名称募集に気軽に参加し採用していただき、驚いています。私の中で、いくつかの候補はありましたが“にこここベジタブルランド”に決めました。それは、農園を訪れる人たちがたくさんの野菜やお花を見て笑顔になり、明るく元気になれるように願って“にこここベジタブルランド”にしました。「ベジタブルランド」とは、夢を持って野菜作りが出来、わくわくするような農園にしたいという思いから名付けました。この新しい農園で出来る素敵な野菜と農園に来て楽しみながら苗を植える学生たちの笑顔と楽しいおしゃべりが目に浮かびます。私もこの新しい農園でどのような野菜が出来上がるのか、今から心待ちにしています。そして、この農園を通して幼児教育に役立てられる何かを見つけていただければ幸いです。私の名付けた名前が、これからも和泉短期大学の皆さんに親しまれ愛されることを心から願っています。



田中 美保さん 08年卒  
(就職先:伊勢原山王幼稚園)



バット博士記念ホーム

読売巨人軍篠塚コーチら野球教室開催

プロの指導ににっこり

児童養護施設バット博士記念ホーム(深町正信理事長・町田市)の子どもたちが参加して今月18日、読売巨人軍打撃コーチ・篠塚和典氏らによる野球教室が和泉短期大学総合グラウンドで開催されました。

同大学の前身である同ホームには、親と一緒に生活できない子どもが暮らしており、昨年篠塚氏が同ホームを訪れたことがきっかけで今回の開催となりました。

当日は約40名の子どもが参加。篠塚氏らとキャッチボールやバッティング練習を行いました。「将来有望だね」「なかなか良い肩してるよ」と声をかけられると、子どもたちはにっこり。なお、相模原リトルシニア野球リーグ野球協会の子どもたちも参加し、指導を受けていました。

指導に来られた方々:読売巨人軍コーチ 篠塚和典、村田真一、緒方耕一、香田勲男  
選手 寺内崇幸、円谷英俊



## 眞鍋記念奨学金の顕彰式

眞鍋記念奨学金は、学校法人クラーク学園の設立に功績のあった、故・眞鍋頼一理事長の寄附を基金とする奨学金です。

本学の理念である、キリスト教精神の“愛と奉仕”のもと、広く社会に貢献する学生の育成を図るため、毎年、和泉短期大学と和泉福祉専門学校で成績優秀な学生に対して、2年次後期の授業料が支給されます。

2008年度は、右記の各学生が特別奨学生に決定し、和泉クラーク・ホールにおいてクリスマス礼拝後に顕彰式が行われました。

### 2008年度 特別奨学生

和泉短期大学	小住 千枝子さん
	阿部 紋子さん
	海沼 麻央さん
	石原 綾子さん
和泉福祉専門学校	吉濱 望さん

### 眞鍋記念奨学金に選ばれた喜びの声を短期大学の4名にお聞きしました。

#### 小住 千枝子さん

社会人特別選抜試験で入学した私は、入学当初から自分の将来への目標意識や学びたいと思う気持ちを非常に強く持ち、特別奨学生になることをひとつの目標としました。社会人としての経験や母親としての経験も最大限に生かして授業への理解を深められるよう努力しました。

5歳、3歳の二人の子どもを保育園に預けながら通学し、カリキュラムをこなすことは、特に子どもの急な病気などの時にはとても厳しくもありました。しかし保育園に子どもを預ける親として、母親としての視点を持ちながら、まさに「今」保育のプロとしての勉強をすることで私の学びをより深めることができ、本当に貴重な2年間を過ごしました。

私が特別奨学生に選んでいただける成績を残せたことは、私一人の努力だけで成し遂げられたことではありません。私の学びを支えてくれた夫と子どもたち、父母や友人、また、先生方や同級生に深く感謝しています。本当にありがとうございました。

#### 海沼 麻央さん

眞鍋奨学金を頂けると知った時は、とても驚きました。正直、何で私なんだろうと疑問でした。

この奨学金は、自分一人の力では頂くことができなかつたと思います。クラスの友だちがいたからこそ、頂くことができたのだと思います。投げ出されたり辞めたいと思った時に支えてくれる人が周りにいたからこそ、私は頑張ることができてきました。今までは、努力が報われたことはほとんどなく、最後にしてやっと報われたように思います。この奨学金を頂いたことで色々ありましたが、社会人となっても、和泉短期大学で学んできたことを十分に発揮できるように仕事に励んでいきたいです。



学長 伊藤 忠彦

#### 阿部 紋子さん

眞鍋記念奨学金を頂けることが決定した時、私は我を忘れて喜びました。それは奨学金を頂けるからではなく、ましてや地位や名誉に繋がると思ったからではありません。この2年間の学生生活での努力が見える形で表現されたと思ったからです。

目に見えることだけが全てではありませんが、やはり、自分の努力が結果として現れたことは安心感と自信に繋がります。

これまでに学んだことを土台とし、信念を曲げず、努力を怠らずに突き進んでいきたいと強く思いました。

この様な制度を設けてくださった故眞鍋頼一理事長先生、またこれまでにご指導して下さった諸先生方に、感謝の気持ちと御礼を申し上げます。

#### 石原 綾子さん

今年度、眞鍋記念奨学金の特別奨学生に選ばれ、とても嬉しく思います。私は、以前、小児病棟で看護師として勤務し、看護に専門的な保育の知識や技術の必要性を感じ、2年前、保育士を目指して和泉に入学しました。保育の視点から子どもについて様々なことを学ぶことができ、毎日がとても充実していました。和泉で学び、実習やボランティアで現場に出て学び、保育士という目標が近づいてくるほど、看護と保育の両方の側面から子どもの発達に関わるプロになりたいという思いが強くなりました。4月から、保育所に就職が決まり、子どもに関わるプロへの第1歩を踏み出すことができます。保育者として一人ひとりの子どもを大切にしたい保育をしていきたいと思っています。

和泉で充実した時間を過ごすことができたのは、周囲の友人や先生方に恵まれたからだと思います。今回、特別奨学生に選ばれたのも、私一人の力ではなく、2年間私を支えてくれた友人や先生方のお陰だと思います。和泉で出会ったすべての人に感謝したいと思います。

## 第25回ハンドベル・クワイア定期演奏会

毎年恒例の、和泉短期大学ハンドベル・クワイア定期演奏会が、去る12月23日(祝)に開催されました(会場:杜のホールはしもと)。ご来場いただきました大勢の皆様、まことにありがとうございました。

今年は隊員数がやや少なく、規模の大きい曲は演奏が難しいのですが、1人が何役もこなすことで、多くのベルを使用する「アヴェ・マリア」にも果敢に挑戦しました。(譜面台の数の多さが、演奏の難しさを物語っています……)

頑張っている後輩たちのため、後半では卒業生の隊員たちも加わって、最後まで熱のこもった演奏をお聞かせしました。これからも、和泉のハンドベルへの応援をよろしく願い申し上げます。



## 地域の子どもたちに創作劇を披露

本学の1年生による段ボールを使った創作劇『ヘンゼルとグレーテル』が、去る12月20日(土)、相模原市立上鶴間公民館のサタデーキッズ・ルームで地域の子どもたちに披露されました。

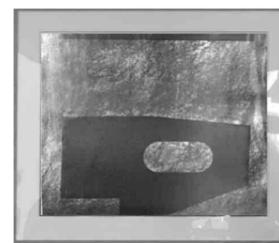
当日会場には、約40名の親子連れの方々が来場され、学生が一生懸命に演じる劇を大変喜んで見て下さいました。

こうした地域の子育て支援に積極的に参加することは、学生自身にも大切な勉強となり、同時に大きなやりがいも感じているようです。



## 古川吉重氏の作品が寄贈されました

抽象画家で、約40年間ニューヨークに在住された故・古川吉重氏のリトグラフ作品が、このたび本学に寄贈されました。眞島明子夫人も同席されて2008年9月3日に除幕式が行われ、青を基調とした、氏の作品「SOUND7」が玄関ホール内に展示されました。



作品「SOUND7」(1998)



除幕式



玄関ホールの様子

古川氏の作品は国際的な評価が高く、国内だけでなく海外でも多くの美術館などに展示されています。(以下は、個人蔵以外の、公的機関のコレクションと氏の主な受賞歴。)

**パブリック・コレクション(国内)**  
国立国際美術館、京都国立近代美術館、東京国立近代美術館、大原美術館、北九州市立美術館、田川市立美術館、佐賀県立美術館、埼玉県立近代美術館、千葉市美術館、福岡県立美術館、福岡市美術館、福岡市役所、佐賀テレビ、九州電力(株)、西日本新聞社、九州産業大学 他

**パブリック・コレクション(海外)**  
大英博物館(イギリス)、ブランダイス大学ローズ美術館、ローランドギブソン美術館、ロングアイランド大学サウスハンプトンカレッジ、ニューヨーク図書館、アメリカテック、ペース大学(以上アメリカ) 他

**主な受賞など**  
1949 独立美術協会[独立賞]  
1972 現代日本美術展[現代美術賞]  
1989 アドルフ・エッサー・ゴッドリブファンデーション賞  
1990 ポロック・クラスナー ファンデーション賞  
1997 新ワシントン空港ロビー-特殊壁画

### 河井希充元理事からの特別奨学金寄付

元理事の河井希充先生が、2008年12月和泉福祉専門学校学業支援基金への特別寄付金として金500,000円をご寄付いただきました。誠にありがとうございます。